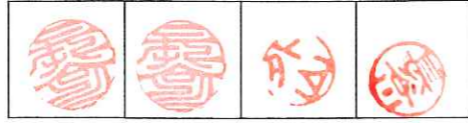


令和2年度 ふじみ幼稚園 自己評価書

- 幼稚園の教育目標 健康で明るい子、思いやりのある心豊かな子、ねばり強く最後までやりぬく子、
- 本年度の重点目標 豊かに感じ生き生きと表現する子、
- 具体目標 元気な挨拶、豊かな人的体験、感謝の心
- 保育のモットー 明るい挨拶、やさしい笑顔、親身な保育
- 園児目標 自分大好き、友だち大好き、幼稚園大好き
- 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果



※評価点は、A（成果があった）・B（少し成果があった）・C（成果がなかった）の数値で表すこと。

回答 100%

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善	評価点	意見
確かな保育	1 子どもが楽しんで登園するよう挨拶や声掛け等に工夫している	A	挨拶に一言添えている。一人一人名前を呼んだり保護者にも挨拶をするように心掛けている。	A	我が子が家で、園で覚えたうたや手遊びをしている姿を見ると、園生活がたのしいと感じる。話を聞いたり、参観等で来園すると、先生と子どもたちのあたたかい雰囲気を感じる。
	2 子どもから信頼（頼りに）されるために子どもの声に耳を傾けたり、子どもの思いに共感し子どもに寄り添う努力をしている	B	その時に聞けなくても必ず後で聞くようにし、最後まで話を聞くようにしている。（乳児）泣き声や仕事や表情などで汲み取れるようにしている。	B	
	3 子どもが幼稚園で自分の思った事、考えた事、気づいた事を造形や描画で表出したり、言葉で友達や先生に伝える環境を作り、表現力を高める努力をしている	B	感動体験は気持ちが新鮮なうちに表現活動につなげたり、環境作りや努力している。教材研究が足りず、努力をしていく必要がある。個を育てるチャンスを逃さないようにしたいと思う。（乳児）言葉が出るよう教材や歌を交えて保育している。	A	
	4 子どもが自然に幼稚園で友達と遊べるきっかけをつくり、集団での活動を通し、友達を意識し数人で遊び、関係が深まる力が育つよう配慮している	B	些細な出来事や会話も、信頼関係ができるようなつながりになるよう心掛けている。必要以上に声をかけすぎてもあったと思う。	A	
豊かな心	5 絵本や紙芝居を楽しむ事を通し、聞く態度、聞き取る力の育成に力を入れている	A	季節や、子どもが興味のあるものを選び、聞く態度を声かけしたり、子どもの反応を見ながら読むようにした。	A	褒められることはいくつになっても嬉しい事。子どもたちのことをよく見ているから、褒めることができる。子どもたちが興味関心を持ってよう、先生たちはよく考えていると思う。
	6 子どもに話題を提供したり、伝達伝言することを通して、子どもから話したくなるように配慮している	B	個々に興味のあることなどで会話をする。時にはクイズ形式にしたり会話が続くような返しを考えて使っている。	A	
	7 なぜ？どうして？を大切に、興味・関心を深めるよう努力している	B	子どもの目線になって一緒に感じたりできるように努力している。子ども達からの反応が少なかったことが課題だったので、もう少し興味・関心を持てる環境作りが必要だったのかもしれない。	A	
	8 子どもの良い所を見つけ、認め、より伸ばし自信や意欲に、つながるように配慮している	A	褒めることで、次の意欲につなげている。伸ばしたい、直したいことに目が行ってしまうため、気を付けたい。	A	
行事	9 子どもが幼稚園の行事を楽しみに充実したものにさせるための工夫をしている	B	学年で話し合う中で4人の意見が出て進めることができている。コロナで今まで通りにいかないことも多かったが形が変わっても、子どもがこれはこれで楽しかったと思えるようにしている。	A	できない行事があったかも知れないが、形を変えて行ったり、動画配信等新たな取り組みをして良いと思う。
	10 領域のねらいを考慮し年齢にあった育ちを保護者にも伝えられるように考えている	B	面接や小さな手紙で、その活動や遊びの中でその子が頑張っているところを伝えられるよう頑張っている。うまく伝わっているか心配。	A	
（生活指導及び基本のキャリア教育）	11 どの子にも親しく接し、人格を尊び、年齢にあった言い方で呼んでいる	A	あだ名になったり呼び捨てにならないように気を付けている。あだ名での呼び方が多くなってしまった。	A	呼び名1つをとっても、ねらいをもって呼んでいることがわかった。小学校の呼び名に対して「どうして、そう呼ぶのか」理由をきくと、納得できる。
	12 一人一人の子どもに集団の中での基本的な生活習慣を身につけさせる努力をしている	A	一人一人に合わせた援助ができるように心掛けている。「自分で」という意欲を引き出す難しさを知った。	A	
	13 ことば遣いに気をつけ、年齢や個に合わせた内容や話し方を工夫している	A	小さな子に対して、赤ちゃん扱いではなく、一人の人間として話をするようにしている。（赤ちゃん言葉は使わない）心掛けているが、余裕がない時など言葉が荒くなってしまったこともあった。	A	
	14 子どもと一緒に遊び、年齢や季節に応じ、時には遊びを提供している	B	子ども達の遊びの状態や成長を見ながら提案している。もっと一緒に遊んだり、季節に応じた遊びも必要だった。	B	
安全教育	15 子どもが幼稚園で好きな遊びや活動を安心して楽しめるよう遊具点検や環境作り努力をしている	A	危険が無いよう気を付けている。壊れたおもちゃなどはすぐに上の先生に伝え、取り換えるようにしている。	A	今年度、欠席者が少ないと聞き、コロナ感染対策ができていたことを感じた。バスの駐車場に新しく柵ができた。月1回避難訓練を行っていることから、その時の状況で安全に配慮しながら対応していることを感じた。
	16 子どもの健康に留意し、一人一人の体調の変化に気づき、必要な時は担任や主任に報告し、対応している	A	マスクでの表情の変化がわかりづらいが変化に気付くよう気を付け、すぐに報告するようにしている。自分だけの判断ではなく、相談をし、早めに対応するよう心掛けた。	A	
	17 子どもの防犯・防災の安全面に配慮し情報収集に努め対策に努めている	B	実際におきたらを想定し、避難訓練を実施し、話し合いをするようにしている。情報収集では足りない面がある。	A	

関係者評価顔合わせ	令和2年7月3日	職員用紙配布	令和3年1月5日	行事参観	
保護者アンケート配布	令和2年12月1日	職員取りまとめ集計	令和3年1月31日	運動会(スポーツ参観)	令和2年10月22日
保護者アンケート回収	令和2年12月11日	職員・保護者アンケート話し合い	令和3年2月10日	発表会	令和2年12月10・11日
保護者アンケート集計	令和2年12月11日	関係者評価	令和3年2月18日	公開保育	令和3年1月22日
理事長へ報告	令和2年12月11日	今後に向けて	令和3年3月24日	作品展	令和3年2月4・5・6日
		理事長へ報告	令和3年3月24日	入園オリエンテーション	令和3年3月2日
		H P公表	令和3年5月31日		

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善	評価点	意見
保護者支援	18 子ども(卒、在、来)の事で保護者と(身体、心、トラブル等)必要ある時は、連絡をとるようにし、また、主任に伝え、保護者にも伝えるようにしている	A	自分だけで対処しないようにし、必ず報告するようにもしてきた。また保護者への伝え方も気を付けている。面接時、主任の先生の伝え方を勉強させてもらっている。	A	マスクをしているせいかも知れないが、全体的に元気がないように感じる人もいると思う。相手に聞こえるように声を出したり、会釈等相手にわかるように表現してもいいのかも知れない。
	19 保護者からの問い合わせや相談を受けた時は、保護者の真意を配慮し、内容によっては即答せず、園や学年(クラス)で検討し、共通理解した後に伝えるようにしている	A	トラブルのもとになるので気を付けている。必ず個人的には伝えず、学年や園を通して検討してから返事をするようにしている。	A	
	20 明るく元気な声で挨拶し、時にはもう一言付け加え子どもと保護者の見本となるよう努めている	A	笑顔で元気なあいさつをしている。努力はしているが毎日すべての子どもや保護者に、とまではできなかった。	A	
	21 安全や活動について全員で共通理解し、互いに声を掛け合い連携を取り合うようにしている	B	声を掛け合っている。一人一人子供も教師も違うので共通理解は難しいが、なるべくズレが起きないように努力している。	B	人間関係なので、満足する関係になるのは難しいと思う。いろんな考えを持った人たちと、協力して、引き続き頑張りたい。
仲間との連携	22 一人一人の子ども個性や特性、発達の状態等正しく理解し、その子の成長を促すような援助や助言を心掛け、知り得たことは全体に伝えている	B	共通認識が持てるよう情報を共有している。気になる子の様子を園全体に伝えた。個の特性や個性について共通理解が難しいこともある。	B	
	23 先輩、後輩として互いに親しみを持ち、挨拶を交わし必要な報告や連絡をしている	B	聞きやすい環境、言いやすい環境を作ってくれている。挨拶は必ずしている。報告するようにはしているが、伝える難しさを感じている。	B	
	24 自分の保育への思いを持ち、考え、気づき、知識、技術等を教え伝えあうようにしている	B	アドバイスをいただくことが多いのでしっかり身につけ、自分の考えをしっかりと持ち伝えていきたい。自分の伝え方に不安があったり一方通行に感じることもある。	B	
	25 いつも笑顔で、活き活きと生活できるよう健康管理につとめている	A	今年度はいつも以上に気を付けている。笑顔でいられるように心掛けている。	A	研修が少なくなっていると思うが、必ず報告したり、時には園内研修としているので、努力していると思う。リモートでも参加できることはありがたい。これからも、意欲的に勉強してほしい。
自己向上力	26 子どもの生活習慣や生活の自立を細やかに指導し、できていくことを子どもと共に喜んでいる	A	乗り越える力と努力を支え、乗り越えたときの喜びを共に味わいたいと思う。指導しているが、自分で気付ききっかけを奪ってしまうこともあるので気を付けていきたい。	A	
	27 研修に取り組み、目的意識を持ち、日々切磋琢磨し、自らの力量を高める努力をしている	B	研修で学ぶだけでなく、実践に移せるようにしたい。今年度はコロナ禍で研修に参加する機会が少なかったため来年度は参加したい。	B	
	28 園目標を理解し、目指す子ども像(育てたい子どもの姿)をきちんと把握し、生きる力の基礎である心情・意欲・態度とのつながりを考えている	B	園目標を軸に今の現状やクラス、個の発達を捉えて考えるように心掛けてきた。乳児が土台となる時期なのでしっかりと責任を務めていきたいと思っている。	A	
他との連携	29 地域の人達に親しまれるよう、地域の幼稚園としての自覚を持っている	A	園外に出たときに自分から元気なあいさつを心掛けた。他人の目があることを忘れないようにしている。	A	各施設、コロナ対策で大変だとは思いますが、今年度は交流や連携は難しかったのかなと思う。これからの形を考えていけると思う。
	30 必要がある時は、他施設と連携をとり、成長を見定めるよう努力している	B	まず、主任の先生に相談している。連携をとっていきたい。繋がるまでが難しいと感じる。今年度はあまりとれなかった。	A	

考察

ほとんどの職員が全ての項目において意識し、心掛けていることが高評価につながったと考えられる。新型コロナウイルスの影響は大きく、結果に結びついていなかったり、納得のいくものではなかったかも知れないが、職員一人ひとりが感染防止を考慮に入れ、協力しあいながら、一つ一つ丁寧に保育してきたことは確かであり、そのことを踏まえ、来年は今年よりも安定した保育ができると期待する。毎年、安全・他との連携・仲間との連携の項目で同じ反省が出ているので、個人の意識向上というより、組織として手立てを考える必要がある。

学校関係者評価委員会からのまとめ・総評

保育に関しては、ふじみ幼稚園のスタイルがあり先輩から後輩へ引き継いでいるので、1人ひとりがはつきりとした保育観を持って保育していると思う。ただその他の部分に関して、全職員が周知していなかったり、まだまだ改善や努力ができるのではないかと感じる。今回の反省を活かし、一人ひとりが努力すると共に、組織として改善し、よりよい園経営を目指して欲しい。